

第6章

総合計画の推進にあたって

本計画は、将来を見通しつつ、時代の変化や課題に的確に対応していくための「進化し続けるまちづくりの総合的な指針」です。

計画の立案（Plan）は、はじめの一步であり、さらに、その目標達成のために政策・施策等の着実な実施（Do）はもとより、成果に基づく客観的な点検評価（Check）を行い、その結果を踏まえ、必要な改善・見直し（Action）を図ることにより、本計画を推進していく必要があります。

1 総合計画のマネジメントサイクル

総合計画の推進にあたっては、計画（Plan）、実施（Do）、点検評価（Check）、改善・見直し（Action）というサイクルを継続的に回して行くことが基本です。そのためには、総合計画におけるPDCAの各段階で、それぞれの担うべき役割を意識しておくことが重要です。

Plan

- 計画（Plan）段階での求められる姿勢・担うべき役割

総合計画の策定・立案にあたっては、議会、審議会、パブリックコメント等を通じ、まちづくりの目標や指標等を共有します。

Do

- 実施（Do）段階での求められる姿勢・担うべき役割

社会経済の動向、各種ニーズ、財政状況など、課題と方向性を見極めた上で、効果的かつ効果的な政策・施策等を展開します。

Check

- 点検評価（Check）段階での求められる姿勢・担うべき役割

目標達成の状況を客観的に点検評価し、その結果を踏まえ対応等を検討します。

Action

- 改善・見直し（Action）段階での求められる姿勢・担うべき役割

目標達成の状況等を踏まえて、それぞれ必要な改善・見直し（政策・施策及び事務事業等の改善等）を行います。

◆ 総合計画のマネジメントサイクル図 ◆

